

# 令和6年度(7年産)ビール大麦等成熟期予測①

農業総合研究センター研究開発部麦類研究室

予測日：令和7(2025)年4月24日

○気象庁季節予報によると、向こう1か月の平均気温は平年より高くなる可能性が高く、成熟期が早まることが想定されるため、収穫適期を逃さないよう、早くから収穫準備を進める。

## 1. 有効積算気温によるニューサチホゴールドの成熟期予測

本年産の農研センター本場（宇都宮市）におけるニューサチホゴールドの成熟期（4月24日現在、令和6年11月8日播種）は、今後気温が平年並に推移した場合は平年より3日早い5月25日（平年値5月28日）と予測される。

| 場所     | 出穂期  | 成熟期予測 |       |      |       | 成熟期  |
|--------|------|-------|-------|------|-------|------|
|        | 本年   | 平年+2℃ | 平年+1℃ | 平年並  | 平年-1℃ | 平年値  |
| 農研センター | 4/14 | 5/19  | 5/22  | 5/25 | 5/28  | 5/28 |

平年+1℃の場合は5月22日（平年-6日）、平年+2℃の場合は5月19日（平年-9日）、平年-1℃の場合は5月28日（平年±0日）である。

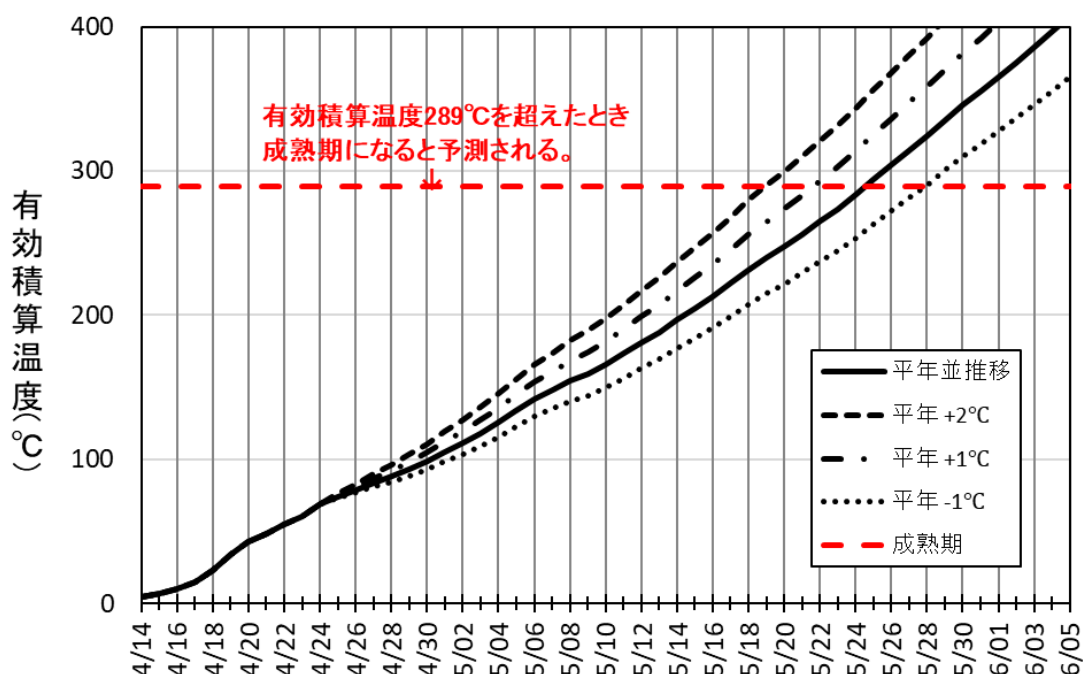


図 ニューサチホゴールドの成熟期予測（農研センター本場）

※有効積算温度＝ $\Sigma$ （日平均気温－有効下限温度（10.6℃））

※日平均気温は気象庁宇都宮アメダスの観測データを使用した。

※有効積算温度及び有効下限温度は、ニューサチホゴールドにおける出穂期から成熟期までの積算温度で算出した。

## 2. ニューサチホゴールデンの出穂期

本年産の農研センター本場（宇都宮市）におけるニューサチホゴールデン（令和 6 年 11 月 8 日播種）の出穂期は 4 月 14 日（平年 4 月 18 日）であった。

| 出穂期  |      |    |
|------|------|----|
| 本年   | 平年   | 差  |
| 4/14 | 4/18 | -4 |

※平年値：平成 25 年～令和 4 年度（10 年間）の平均値。

※令和 5 年度は参考値（播種が平年より 10 日遅れたため、平年値から除く）。

## 3. 今後の気象動向（気象庁季節予報令和 7 年 4 月 24 日発表より引用）

●天候：期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

- ・平均気温：高い確率が 60%
- ・降水量：平年並または少ない確率ともに 40 %
- ・日照時間：多い確率が 40 %

| 気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%） |        |                         |                                                        |
|-----------------------|--------|-------------------------|--------------------------------------------------------|
| 気温                    | 関東甲信地方 | 向こう 1 か月<br>04/19～05/18 | <div> <div>10</div> <div>30</div> <div>60</div> </div> |
|                       |        | 1 週目<br>04/19～04/25     | <div> <div>10</div> <div>10</div> <div>80</div> </div> |
|                       |        | 2 週目<br>04/26～05/02     | <div> <div>20</div> <div>40</div> <div>40</div> </div> |
|                       |        | 3～4 週目<br>05/03～05/16   | <div> <div>20</div> <div>40</div> <div>40</div> </div> |
| 降水量                   | 関東甲信地方 | 向こう 1 か月<br>04/19～05/18 | <div> <div>40</div> <div>40</div> <div>20</div> </div> |
| 日照時間                  | 関東甲信地方 | 向こう 1 か月<br>04/19～05/18 | <div> <div>30</div> <div>30</div> <div>40</div> </div> |

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

向こう 1 か月の平均気温は平年より高くなる確率が 60%であり、成熟期は平年より早くなる可能性が高いと考えられるため、収穫適期を逃さないよう注意が必要である。



※栃木県農業総合研究センターは設立 130 周年を迎えました